

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2031年1月17日まで（2021年1月19日設定）	
運用方針	マネー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の公社債等に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。	
主要運用対象	ベビーフンド	マネー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。） </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

GRAN NEXT マネープールファンド



第2期（決算日：2023年1月19日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「GRAN NEXT マネープールファンド」は、去る1月19日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	達 配 金	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2021年1月19日	10,000		—	—	—	—	11
1期(2022年1月19日)	9,992		0	△0.1	60.1	—	660
2期(2023年1月19日)	9,983		0	△0.1	59.2	—	673

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2022年1月19日	9,992		—	60.1	—	—
1月末	9,991		△0.0	68.5	—	—
2月末	9,991		△0.0	60.8	—	—
3月末	9,990		△0.0	62.4	—	—
4月末	9,990		△0.0	54.8	—	—
5月末	9,989		△0.0	60.4	—	—
6月末	9,988		△0.0	68.2	—	—
7月末	9,987		△0.1	56.8	—	—
8月末	9,987		△0.1	59.8	—	—
9月末	9,986		△0.1	53.1	—	—
10月末	9,985		△0.1	75.7	—	—
11月末	9,984		△0.1	57.0	—	—
12月末	9,983		△0.1	52.0	—	—
(期末)						
2023年1月19日	9,983		△0.1	59.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

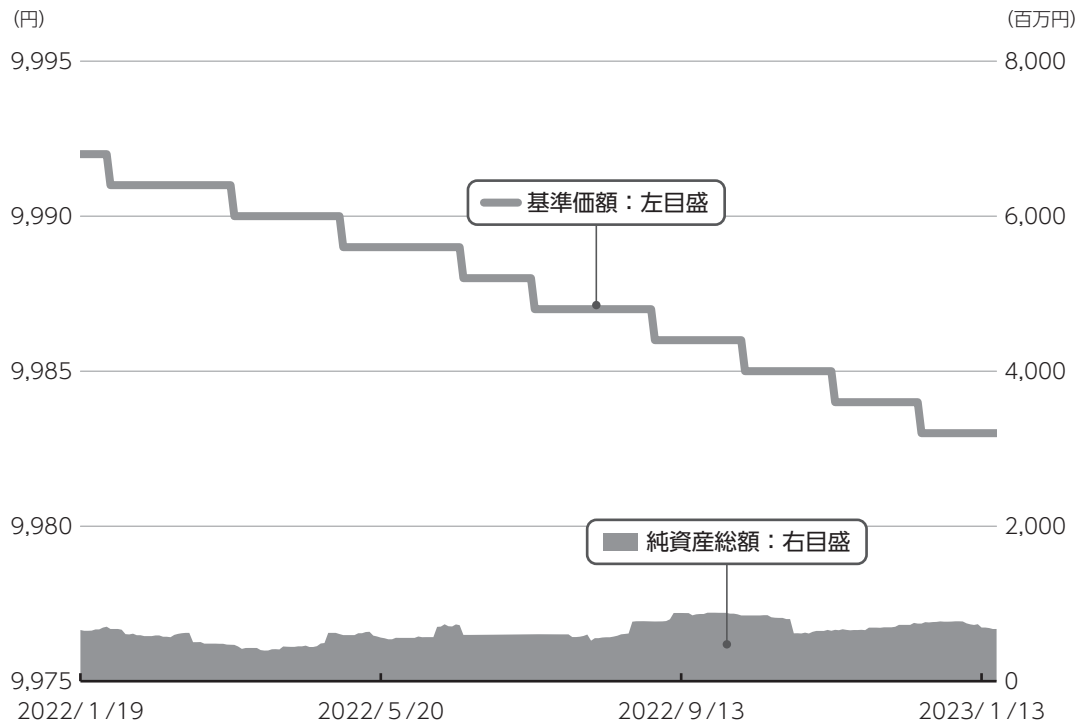
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	9,992円
第2期末	9,983円
既払分配金	0円
騰落率	-0.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.1%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因**下落要因**

運用資金に対するマイナス金利適用や信託報酬等コストなどが基準価額の下落要因となりました。

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

投資環境について

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.010%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ GRAN NEXT マネープールファンド

期間を通じて、マネー・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

▶ マネー・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2022年1月20日～2023年1月19日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ GRAN NEXT マネープールファンド

マネー・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

▶ マネー・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2022年1月20日～2023年1月19日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	0	0.001	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(0)	(0.001)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(0)	(0.000)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	0	0.002	

期中の平均基準価額は、9,987円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

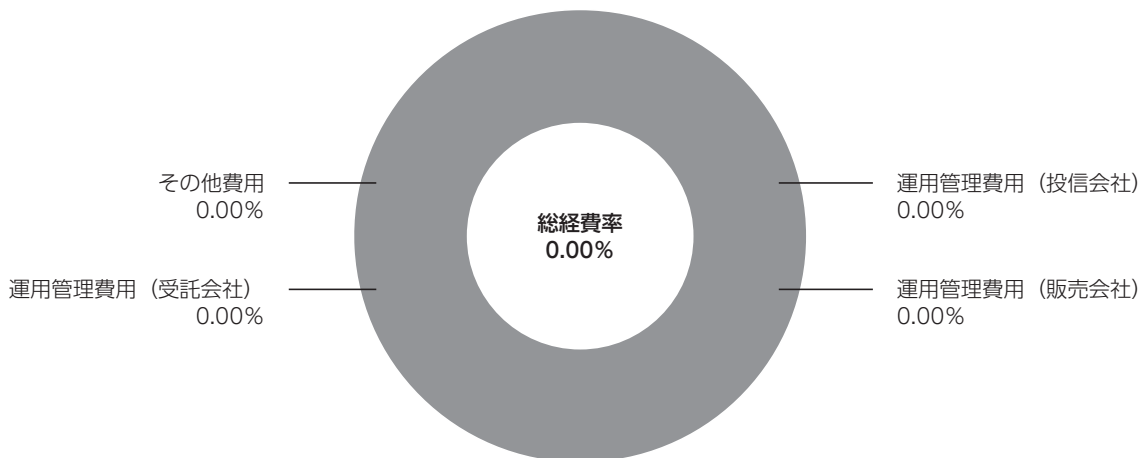
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.00%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年1月20日～2023年1月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
マネー・マザーファンド	1,174,935	1,173,511	1,160,969	1,159,568

○利害関係人との取引状況等

(2022年1月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年1月20日～2023年1月19日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 11	百万円 —	百万円 —	百万円 11	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2023年1月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・マザーファンド	659,368	673,333	672,189

○投資信託財産の構成

(2023年1月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マネー・マザーファンド	672,189	97.0
コール・ローン等、その他	20,578	3.0
投資信託財産総額	692,767	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	692,767,257
コール・ローン等	20,578,012
マネー・マザーファンド(評価額)	672,189,245
(B) 負債	18,893,342
未払解約金	18,887,431
未払信託報酬	3,957
未払利息	5
その他未払費用	1,949
(C) 純資産総額(A-B)	673,873,915
元本	675,043,345
次期繰越損益金	△ 1,169,430
(D) 受益権総口数	675,043,345口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,983円

<注記事項>

- ①期首元本額 661,027,621円
 期中追加設定元本額 1,556,300,487円
 期中一部解約元本額 1,542,284,763円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9983円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,169,430円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年1月20日～ 2023年1月19日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	287,868円
収益調整金額	－円
分配準備積立金額	17,922円
当ファンドの分配対象収益額	305,790円
1万口当たり収益分配対象額	4円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2022年1月20日～2023年1月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,900
受取利息	7
支払利息	△ 3,907
(B) 有価証券売買損益	△ 270,684
売買益	223,423
売買損	△ 494,107
(C) 信託報酬等	△ 10,439
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△ 285,023
(E) 前期繰越損益金	△ 7,370
(F) 追加信託差損益金	△ 877,037
(配当等相当額)	(49,265)
(売買損益相当額)	(△ 926,302)
(G) 計(D+E+F)	△1,169,430
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△1,169,430
追加信託差損益金	△ 877,037
(配当等相当額)	(△ 50,345)
(売買損益相当額)	(△ 826,692)
分配準備積立金	305,790
繰越損益金	△ 598,183

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っています場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

マネー・マザーファンド

《第4期》決算日2023年1月19日

[計算期間：2022年7月20日～2023年1月19日]

「マネー・マザーファンド」は、1月19日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の短期公社債等に投資を行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純資産総額
		期騰	落中率					
(設定日) 2021年1月19日	円 10,000		% —		% —		% —	百万円 11
1期(2021年7月19日)	9,995		△0.1		55.7		—	1,348
2期(2022年1月19日)	9,992		△0.0		60.3		—	996
3期(2022年7月19日)	9,987		△0.1		56.9		—	650
4期(2023年1月19日)	9,983		△0.0		59.4		—	707

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円					%			%
	2022年	7月	19日	9,987		—		56.9			—
		7月末		9,987		0.0		57.0			—
		8月末		9,987		0.0		59.9			—
		9月末		9,986		△0.0		53.3			—
		10月末		9,985		△0.0		76.0			—
		11月末		9,984		△0.0		57.2			—
		12月末		9,983		△0.0		52.1			—
	(期 末)										
	2023年	1月	19日	9,983		△0.0		59.4			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

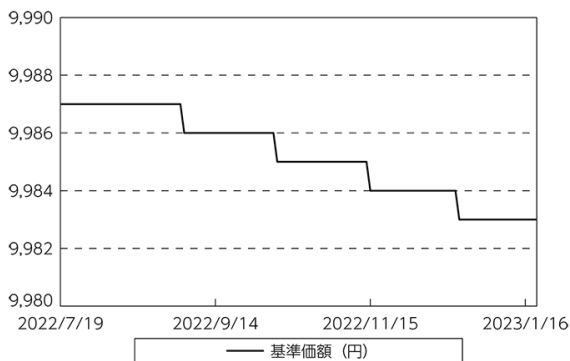
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べて0.04%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.010%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年7月20日～2023年1月19日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	54,789,965	54,739,831

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年1月19日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当		期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	420,000	420,189	59.4	—	—	—	59.4
	(420,000)	(420,189)	(59.4)	(—)	(—)	(—)	(59.4)
合計	420,000	420,189	59.4	—	—	—	59.4
	(420,000)	(420,189)	(59.4)	(—)	(—)	(—)	(59.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	当 期		末
		額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1125回国庫短期証券※	—	420,000	420,189	—
合 計		420,000	420,189	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月19日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公社債	千円		%
コール・ローン等、その他	420,189		59.4
投資信託財産総額	287,390		40.6
	707,579		100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	707,579,844
コール・ローン等	287,390,844
国債証券(評価額)	420,189,000
(B) 負債	187,170
未払解約金	187,087
未払利息	83
(C) 純資産総額(A-B)	707,392,674
元本	708,620,900
次期繰越損益金	△ 1,228,226
(D) 受益権総口数	708,620,900口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,983円

<注記事項>

- ①期首元本額 651,807,464円
 期中追加設定元本額 665,042,045円
 期中一部解約元本額 608,228,609円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9983円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

GRAN NEXT マナーブルファンド	673,333,913円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マナーブル)	35,036,787円
ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04(限定追加型)	200,200円
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	10,000円
GRAN NEXT フード	10,000円
GRAN NEXT エネルギー	10,000円
GRAN NEXT テクノロジー	10,000円
GRAN NEXT モビリティ	10,000円
合計	708,620,900円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,228,226円です。

○損益の状況 (2022年7月20日~2023年1月19日)

項目	当期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 378,466
受取利息	△ 287,579
支払利息	△ 90,887
(B) 当期利益(A)	△ 378,466
(C) 前期繰越損益金	△ 818,641
(D) 追加信託差損益金	△ 937,584
(E) 解約差損益金	906,465
(F) 計(B+C+D+E)	△1,228,226
次期繰越損益金(F)	△1,228,226

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。